



地震発生時の行動

地震から身を守るポイントはいつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考に、どのような行動をとるべきか、覚えておきましょう。

地震発生 身の安全を確保!

緊急地震速報!



寝ていたら

布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

テレビを見ていたら

重い家具の近く、電灯の真下などから離れましょう。

仕事・授業中なら

本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

電車に乗っていたら

吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

車の運転中なら

道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを差したまま避難しましょう。

買い物中なら

買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

ビル街を歩いていたら

ガラスの破片、看板などに注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら

ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

エレベーターの中にいたら

すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。

1分~2分 火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認!

火の元の確認・初期消火



靴を履く(ガラスの破片などから足を守ります)



出口を確保



非常持出品の用意を! ガスの元栓・電気ブレーカーを切る!



5分~10分 正しい情報をつかむ 津波予報は地震発生から約3分で発表

大きな地震の後には、引き続きゆれが発生する可能性があります!

テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認!



テレビ・ラジオ

NHKなどのデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

屋外拡声器・広報車

屋外拡声器や広報車などで緊急情報をお知らせします。

緊急速報メール

避難指示発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話に一斉送信します。

防災ネットかがわ

あらかじめ登録をした携帯電話などへ、緊急情報などの内容を配信します。

10分~数時間 状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険などがあれば、避難!

隣、近所の安否確認



各町内会、自治会で安否確認を



地域ぐるみで協力し合って 救急、救護、初期消火



余震に注意

「地震がおさまったからもう大丈夫!」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後には数カ月間、強い余震が起こることもありますので油断せずに行動しましょう。

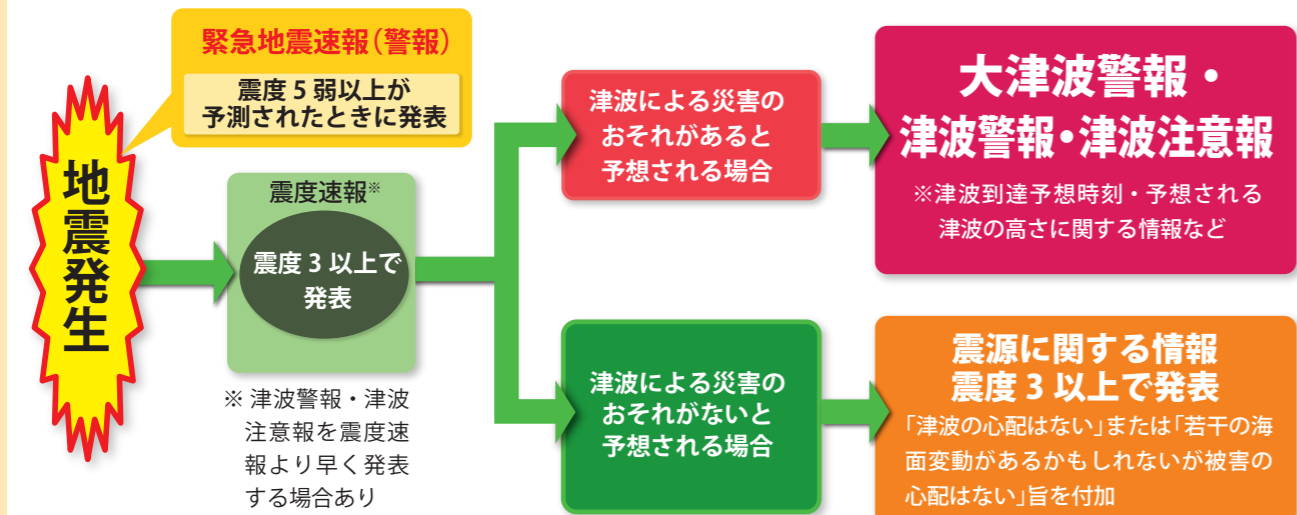




地震および津波の発生に関する情報

地震が発生した場合、気象庁より約1分半後を目安に震度速報が発表されます。また、津波による災害の発生が予想される場合には、約3分後を目安に大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。

地震発生後に発表される情報



津波避難時の心得

南海トラフ地震が発生した場合、1m未満の津波(第1波)は地震発生後10~20分で襲ってくるおそれがありますが、津波が初期水位より1m上昇する時間は最短で113分と想定されています。テレビやラジオからの情報に注意し、落ち着いて避難行動を開始しましょう。

津波避難時の注意点



津波避難の三原則

<p>想定にとらわれるな</p> <p>被害の想定を超える災害が起こる可能性がある事を忘れずに。想定にとられず、状況を見て避難をしましょう。</p>	<p>その状況下において最善を尽くせ</p> <p>「自分は大丈夫」という思いは持たず、その時どきで最善の行動を取るようにしましょう。</p>	<p>率先避難者であれ</p> <p>まず自分の身を守る事を考えて、率先して避難をしましょう。避難をしている姿を見た人も避難をし、結果的に多くの人の命を救うことに繋がっていきます。</p>
---	--	---

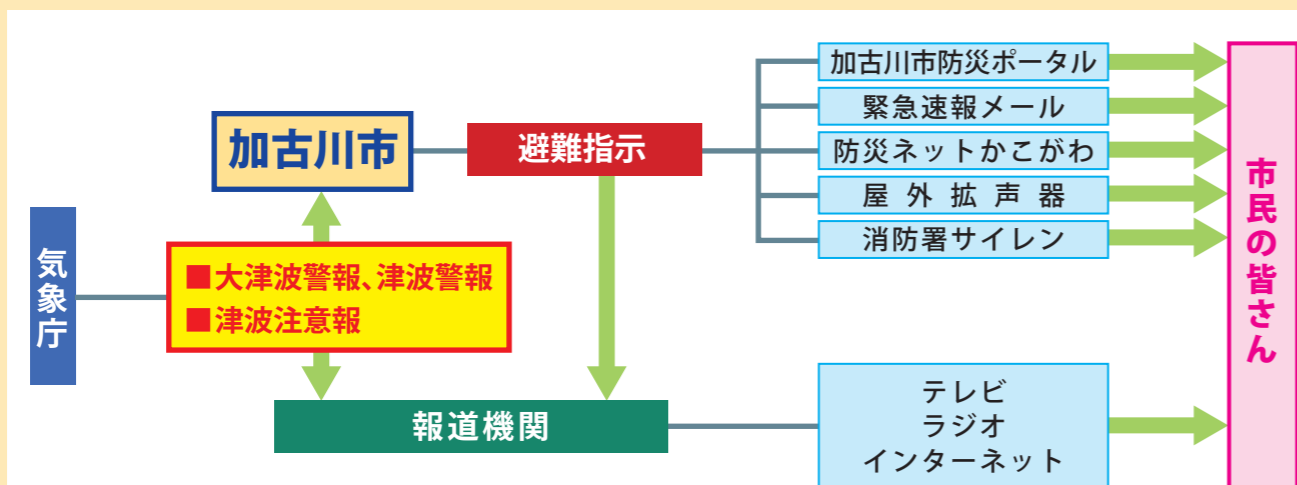
大津波警報、津波警報、津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より大津波警報や津波警報、津波注意報が発表されます。警報や注意報が発表された時は、すぐに下記のような行動をとりましょう。

	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報 (特別警報)	10m超(10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人は、高台や避難ビルを目指して直ちに避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないで下さい。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	ここなら安心と思わず最善をつくし、より高い場所を目指して避難しましょう!
津波注意報	1m(0.2m≤高さ≤1m)	—	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し、小型船が転覆する。	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れて下さい。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないで下さい。

津波の警報、注意報と避難行動

市は、避難の必要性が高まった場合、その状況に応じて避難指示を発令します。



地震発生時の避難情報入手における注意点

地震発生時に、屋外拡声器の呼びかけなどが届かない場合があります。揺れを感じたら自主的に避難を行うとともに、テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

避難指示 危険な場所から全員避難してください。

※避難方法等についてはP72を確認してください。